



TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA
Jonathan Nott, Music Director
東京交響楽団 1946年創立

早坂文雄

東京交響楽団 現代日本音楽の夕べシリーズ第18回
没後60年コンサート
（東京交響楽団による初演曲を選んで）

映画「羅生門」から真砂の証言の場面のボレロ（1950年）

交響的童話「ムクの木の話」（1946年／上田仁指揮 東宝交響楽団初演）
（アニメーション映像と共に演奏されます）

交響的組曲「ユーカラ」（1955年／上田仁指揮 東京交響楽団委嘱初演）



（写真提供：北浦絃子）

指揮：大友直人 管弦楽：東京交響楽団

2015年10月10日（土）午後3時 ミューザ川崎シンフォニーホール（JR川崎駅西口）

S ¥6,000 A ¥4,000 B ¥3,000 C ¥2,000

（C席はスクリーンが見えにくいお席です。予めご了承ください）

没後60年 早世の天才作曲家 早坂文雄の音楽

「ムクの木の話」（作：丸山章治、原画：山田順治）は、東宝教育映画部が自社製作した本格的アニメ映画第一弾で、早坂の音楽による風景描写がすばらしい効果をもたらしている。まだ当時の映像が残存していることもあり、演奏中はスクリーンに映像を流す。名匠黒澤明監督の名作「羅生門」では、ボレロのリズムが陶酔感を盛り上げる。死の直前に完成した「ユーカラ」は、東京交響楽団が委嘱初演した早坂の遺作で「第71回定期演奏会」にて取り上げられた。クラシック音楽ファンのみならず多くの方々に注目される演奏会になるだろう。

発売日：2015年6/2（火）／東響会員（サポート会員、TOKYO SYMPHONY VISA カード会員、定期会員）の先行発売 5/26（火）

TOKYO SYMPHONY チケットセンター 044-520-1511 <受付時間> 平日10:00～18:00（土日祝休み）

*やむを得ぬ事情により、休業もしくは営業時間が変更となる場合がございます。

TOKYO SYMPHONY オンラインチケット <http://tokyosymphony.jp>

◎ミューザ川崎シンフォニーホール 044-520-0200 ◎チケットぴあ 0570-02-9999 <http://pia.jp/t/tso/>

◎e+（イープラス）<http://eplus.jp/tokyoso/> ◎ローソンチケット 0570-000-407 <http://l-tike.com/tso/> ◎CNプレイガイド 0570-08-9990

◎楽天チケット <http://ticket.rakuten.co.jp/> ※お支払い、お受取り方法などの詳細は、各プレイガイドにお問合せください。

主催：公益財団法人東京交響楽団 特別協賛：株式会社エイチ・アイ・エス

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（トップレベルの舞台芸術創造事業）、公益財団法人朝日新聞文化財団、私的録音補償金管理協会（sarah）

後援：川崎市、「音楽のまち・かわさき」推進協議会、株式会社東宝ステラ、東宝ミュージック株式会社、J.A.A 日本アニメーション協会

協力：北浦絃子、ミューザ川崎シンフォニーホール（川崎市文化財団グループ）

©R. Kirishima



MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

早坂文雄さんは父伊福部昭と同年生まれで、父の方が数カ月早く生まれました。私は伊福部昭の長男で父が92歳直前に亡くなるまで同じ屋根の下に住んでおりましたが、音楽には携わっておらず、茶の間での雑談とか、全く学術的な内容ではありませんが、反って早坂文雄さんのあまり書かれていない面を聞いているのかもしれない。

父は早坂さんの事を最後まで「早坂君、早坂君」と君付けで呼んでおり、やもすると悪口の多い父でしたが早坂さんの作品の感想批評に当る発言の記憶がありません。父も母も若い頃からの早坂さんの知り合いでして、仕事一途の人だったと良く言っており、撮影所の近く（東宝撮影所近所の砦）へ住む事になった時は、ますます忙しくなるから仕事場とは少し離れた所に住むように勧めたけど、そ

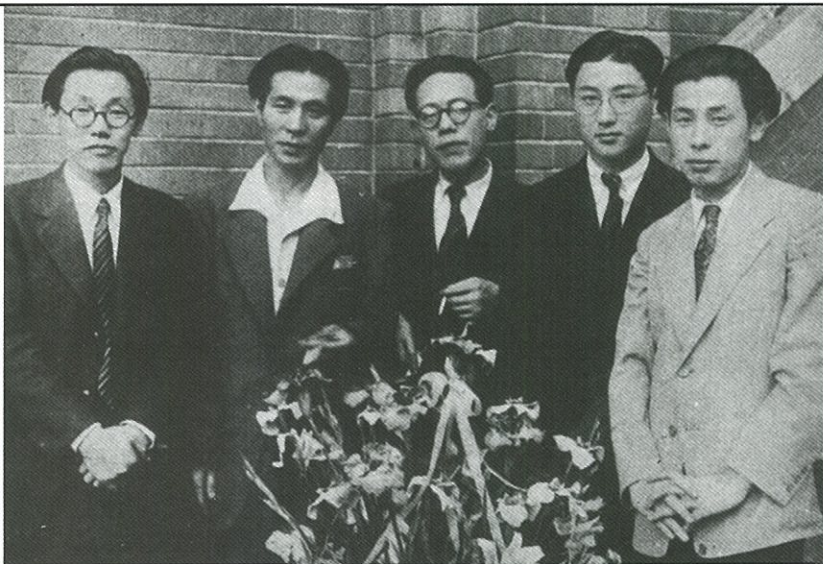
のような事に耳を貸す様な人ではなく、結果早世してしまった事を父母共に終生残念がっていたのは印象に深く残っております。その東宝の仕事、言うなれば子供向けの作品が演奏されます。早坂さんのご長男も私と同じ昭和24年生まれであり、幼くしてお父さんを亡くしてしまっ事になり、同じ年の子供を持つ父母は「どうしているかな？」はことある度に口にしておりました。

早坂文雄の作品は言うに及ばず、写真、小さなイラストの様なものに至るまでお嬢さんの絃子さんがしっかり管理され、母の生前は「絃子さんは偉いよ、あなたは男なのだからちやんと見習いなさい」は良く言われましたが、自分がその立場になってみれば、遠く遠く及びません。早坂文雄没後50年が経過して、著作権が切れる前後、生の演奏に触れる機会に恵まれ、作品名を耳にしていた



は、音になり初めてその価値が出る、理解されるものと考えます。それも素晴らしい演奏で、今の人は言うに及ばず、後の人にも大変に貴重な資料になると思います。その曲を懐かしむ人、音楽を学び研究している方々にも早坂文雄作品は欠かせないものと思ひ推薦させていただきます。

伊福部 極



1948年6月22日第11回東宝グランドコンサート 左より 早坂文雄/伊福部昭/上田仁/Pf 梶原完/Vn江藤俊哉

楽曲を聞く事が出来、管理、保管がされていると言う事は素晴らしい事と思ひました。今般 早坂文雄作品がプロフェッショナルのオーケストラの演奏で、新たに記録されると言う事は大変に意義深いものと考えます。譜面が残されている事も大前提ですが、やはり音楽

早坂文雄 (作曲家・1914~1955)

1914年仙台に生まれ、幼い時に札幌に移った。作曲、ピアノを独学で勉強し、1939年管弦楽曲「古代の舞曲」でワインガルトナー賞を受賞。その後、上京して東宝に入社した。1934年伊福部昭らと「新作曲派協会」を結成。「汎東洋主義(パンイシアニズム)」を唱え、独自の作風を持ち、代表的な作品には「古代の舞曲」、「左方の舞と右方の舞」、遺作の交響的組曲「ユーカラ」などがある。また映画音楽の分野でも活躍し、黒澤明監督「羅生門」「七人の侍」、溝口健二監督「雨月物語」「山椒大夫」「近松物語」などととも多くの名作を残した。

大友直人 (指揮)

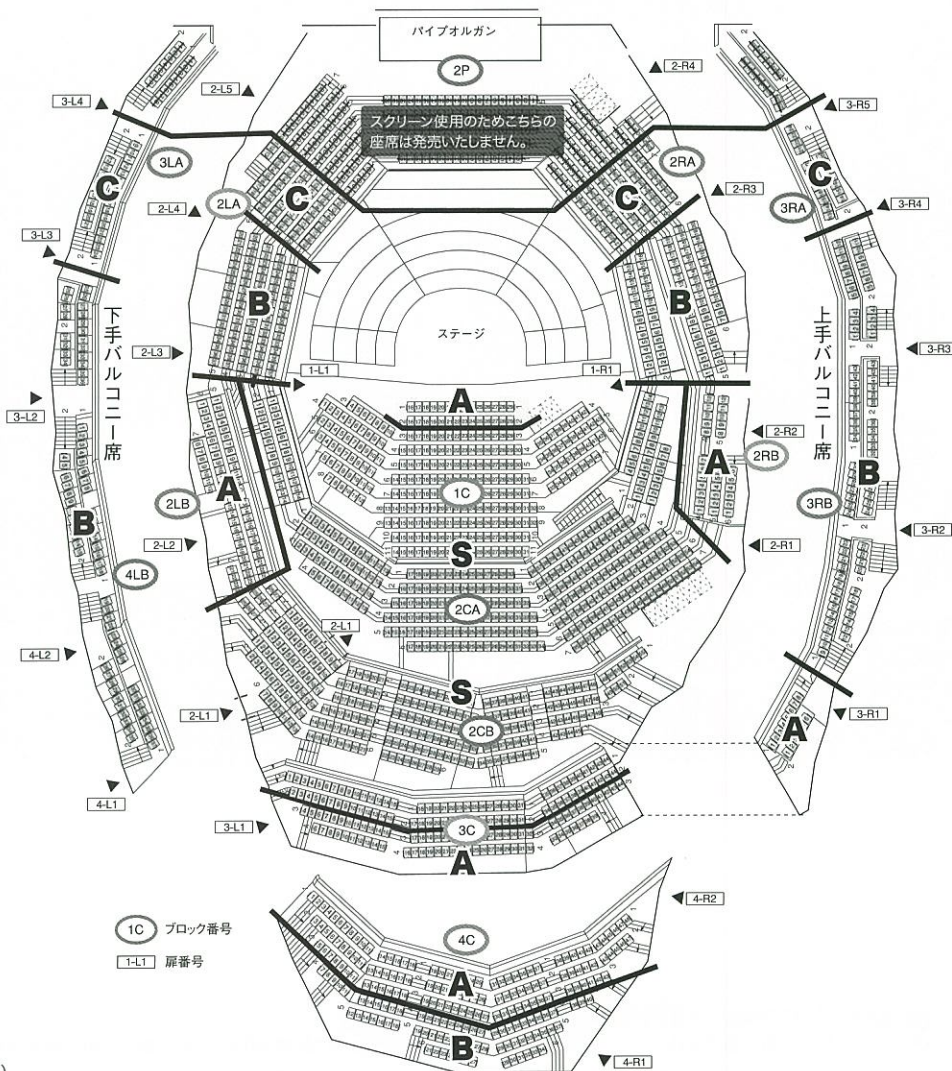
桐朋学園大学を卒業。22歳で楽団推薦によりNHK交響楽団を指揮してデビュー。現在、群馬交響楽団音楽監督、東京交響楽団名誉客演指揮者、京都市交響楽団桂冠指揮者、琉球交響楽団ミュージックアドバイザー。また、2004年から8年間にわたり、東京文化会館の初代音楽監督を務めた。第8回渡邊暁雄音楽基金音楽賞(2000年)、第7回齋藤秀雄メモリアル基金賞(2008年)を受賞。

東京交響楽団 (管弦楽)

1946年東宝交響楽団として創立。2014年度シーズンより、ジョナサン・ノットが第3代音楽監督に就任した。川崎市のフランチャイズオーケストラ、新潟市の準フランチャイズオーケストラ、(公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団とはパートナーシップ協定を結び、活動の場を拡げている。新国立劇場ではレギュラーオーケストラとして毎年オペラ・バレエ公演を担当。 <http://tokyosymphony.jp>

*チケットご予約後の変更・キャンセルはお受けできません。また一度お申込みいただいたチケットは公演中止の場合以外は、キャンセル、払い戻しができません。*やむを得ぬ事情により、出演者・曲目・その他を変更する場合もありますので、予めご了承ください。*チケットの紛失等での再発行はいたしかねます。*営利を目的としたチケットの転売は、固くお断りいたします。*未就学のお子様のお入場はご遠慮ください。*表示価格はすべて税込価格です。

現代日本音楽のタベシシリーズ座席表



ミュージアム川崎シンフォニーホール
〒212-8557 川崎市幸区大宮町1310
044(520)0100 <http://www.kawasaki-sym-hall.jp>
[交通案内]
JR川崎駅西口直結
所要時間 品川から9分 横浜から7分 東京から18分
●駐車場 収容台数 343台 24h営業 (7:00~24:00は100円/15分)